

(様式3)

事業所名 グループホームえがお

作成日 平成26年10月17日

目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	・職員が、禁止の対象となる具体的な身体拘束行為を正しく理解する努力を自ら行うことを目的に、身体拘束廃止委員会を設置しているが、その都度のケース対応のみにとどまっている。身体拘束についての職員の理解を深めるための研修などは行っていない。	・全職員が身体拘束について理解を深め、身体拘束のないケアの実践。	・職員で構成する身体拘束廃止委員会に諮りながらおおむね6か月に1回程度の研修を行う。	6か月
2	7	・虐待の防止には日々努めているが、虐待としての認識が甘かったり、見過ごされる場合も無きにしもあらずが現状と思われる。	・身体拘束と同様に、虐待に係わる法令などの理解を深め、虐待防止に努める。	・身体拘束と併せて概ね6か月に1回程度の職員研修を行う。	6か月
3	26	・介護計画実施状況のチェックが遅れていたり、評価基準が曖昧なところがある。	・施設サービス計画に基づいて実践したことを記録し、評価する。	・サービス内容を実践し、介護記録に記録する。 ・当日の勤務者が評価し、表に記入する。 ・担当職員が1か月毎にモニタリングする。	3か月
4	34	・利用者の急変や事故発生時の備えに、職員の代表が消防署の行う普通救命やAED使用などの講習・研修会に参加し、対応しているが、全職員にその伝達周知がうまくいかないところもある。	・職員が普通救命やAED使用などの講習・研修などに参加したときは、全職員に復命書を回覧してその後、伝達講習を実施する。	・職員会議等で復命書の回覧や伝達講習などの実施について周知し、実践する。	1か月
5	35	・施設における災害対策は、定期的に防災訓練などを行っている。また、3日程度の非常用食品の確保もしているが、定期点検の実施がなされていない。	・非常用食品の数量、品質などの管理を徹底する。	・非常用食品等管理票を作成し、1か月に1回点検を実施する。特に、食品の安全・安心を確保するために、消費期限などこまめにチェックする。	1か月